

年頭所感

秋田県中小企業団体中央会
会長 藤澤正義



新年明けましておめでとうございます。

令和2年の年頭にあたり、皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、昨年の出来事を振り返りますと、5月1日に今上陛下が御即位され約30年間続いた平成が幕を閉じ、「令和」という新しい時代が始まりました。

スポーツ界では、初めて我が国で開催されたラグビーワールドカップで日本代表が初のベスト8進出という快挙を成し遂げ、チームのスローガンである「ONE TEAM」が2019年の流行語大賞に決まるなど、国民に大きな感動を与えてくれました。

一方で、風台風の15号、雨台風の19号、更には低気圧による大雨等により、広範な地域で甚大な被害が発生したところであり、被災された皆様と、そのご家族、関係者の方々に心からお見舞いを申し上げます。

今年は、待ちに待った東京オリンピック・パラリンピックが開催され、国中が歓喜の渦に包まれるものと思いますが、経済に目をむけますと米中の貿易摩擦が続くことで、両国の景気のみならず我が国を含め世界経済への影響が懸念される他、国内では4月から働き方改革による時間外労働の上限規制が中小企業にも適用され、人手不足等も重なって納期が間に合わないなど、企業経営に重大な影響を与え、地域経済の疲弊が懸念されます。

しかし、「備えあれば憂いなし」という諺がありますが、組合・企業のリーダーの皆様におかれましては、この諺の意味を今一度見つめ直し、どのような時代になろうとも、事業が継続・発展できるよう経営基盤を整えて頂きたいと思っております。

このような中で、今年の中央会の活動は、昨年と同様に会員組合及び関係機関等への巡回訪問を重点的にに行い、そこで得られる生の声を行政機関等へ伝えるとともに、組合・企業等への支援活動に展開していくことが基本となりますが、特に、組合における共同経済事業の見直しを積極的に提案してまいります。

例えば、仕入を共同で行い一定規模以上の取扱量を確保することで、仕入単価の引き下げを図る共同購買事業等が、デフレが一段落した現状においては今一度見直されるべきだと考えております。

中央会では、会員組合の皆様と一緒に考え、実践してまいります。中央会単独ではなく、行政機関、商工会議所・商工会等の支援機関の皆様とも連携し「オール秋田」で取り組んで参りますので、これまで以上に中央会をご活用頂ければ幸いです。

さて、今年は「子年」にあたり、再びあたらしい十二支のサイクルがスタートする年でもあります。令和の時代が中小企業にとって一層飛躍できる時代となるよう皆さんと力を合わせて進んでいきたいと思っております。

最後になりますが、会員組合および組合員企業、関係機関の皆様にとりましてよい年となることをご祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

年頭所感

秋田県知事

佐竹敬久



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は元号が「令和」に改まり、新しい時代の幕開けとなりました。振り返りますと、9月7、8日の両日には、天皇陛下御即位記念を冠した「第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会」が秋田市の会場を中心に天皇皇后両陛下御臨席のもと、全国から大勢の参加者をお迎えし盛大に開催されました。

県内各地において、多くの関連行事が開催され、全国から参加された皆様には、秋田の魅力を実感していただけたものと思います。

また、県内の景気は緩やかな回復傾向が続き、有効求人倍率も概ね1.4～1.5倍と改善の動きが見られた一年となりました。

秋田県中小企業団体中央会におかれましては、西明寺栗の地域団体商標登録やいぶりがっこの地理的表示(GI)保護制度登録への支援、県内で起業を検討している女性を対象とした女性起業支援セミナーの開催、外国人技能実習制度の概要とその活用事例の紹介及び外国人労働者の雇用に関する適正な労務・人事管理等を紹介する外国人材の受け入れ・共生セミナーの開催など、さまざまな取組により地域の経済活性化を力強く牽引していただきました。

さて、我が国では、人手不足が深刻化する中、外国人労働者の受入れを拡大する改正出入国管理及び難民認定法が成立するなど、グローバル化の流れが加速してきております。

本県におきましても、企業の人手不足が顕在化しており、人材の確保・育成が喫緊かつ重大な経営課題となっております。

こうした中、県では、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」及び「秋田県中小企業振興条例」に基づく施策・事業を着実に推進するとともに、県内企業の連携による販路開拓及びブランド化への支援や、外国人材の活用に向けた関係機関への働きかけ、産業人材の確保に向けた取組の強化など、環境の整備を進めてまいります。

秋田県中小企業団体中央会におかれましては、県経済活性化の牽引役として、組合及び中小企業の頼れるパートナーとしてますます御尽力くださるようお願い申し上げますとともに、会員組合・企業の皆様には、更なる事業発展にチャレンジしていただくことを期待しております。

結びに、新しい年が皆様にとって、希望に満ちあふれた飛躍の年となりますよう御祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 森 洋



明けましておめでとうございます。令和2年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月に会長に就任後、初めて迎える新年であり、大変身の引き締まる思いであります。

昨年は、台風をはじめとした一連の風水害等による被害が相次いで発生し、甚大な被害を及ぼしました。被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一刻も早く復旧されますことをご祈念申し上げます。

また、11月26日には「中小企業等協同組合法施行70周年及び中小企業団体の組織に関する法律施行60周年記念式典」を開催しました。表彰の栄に浴されました受彰者の皆様方に対し心よりお祝い申し上げますとともに、そのご努力に深く敬意を表します。

会長として半年間を振り返りますと、自然災害による被害、深刻な人手不足、事業承継、消費増税と複数税率の導入、働き方改革などへの対応、最低賃金の引上げ、さらには米中の貿易摩擦による受注減少など、中小企業を取り巻く事業環境は、厳しさを増しております。

このような状況の中、中小企業においては生産性向上が急務であり、そのためには、個々の自助努力に加えて、中小企業組合による共同化、協業化や企業間の連携強化を図るなど、積極果敢に対応していくことが重要であります。

昨年11月7日に鹿児島市の鹿児島アリーナにて開催した「第71回中小企業団体全国大会」では、全国各地から中小企業団体の関係者3,000名が参集し、

- I. 中小企業・小規模事業者の生産性向上支援等の拡充
- II. 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- III. 震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充
- IV. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

などを決議し、実現に向けて政府等に要望して参りました。

全国中央会は、令和の時代の新しい組合と中央会のあり方を見つめ、現場の声を大切にしながら、中小企業を代表する組織としての政策提言を行って参ります。また、「頼られる全国中央会」となるよう、業務執行体制の充実及び中央会の社会的なプレゼンス向上を図るため、都道府県中央会や全国団体と一体となって、会員の皆様に対する伴走型・提案型の支援の充実・強化を図っていく所存です。

本年7月には、いよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。世界に日本の中小企業の魅力を発信する絶好の機会であります。本年が中小企業組合と中小企業にとりまして、オリンピック・イヤーにふさわしい、活気に満ちた活力あふれる素晴らしい1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和2年元旦

年頭所感

株式会社商工組合中央金庫

秋田支店長 高橋大輔



明けましておめでとうございます。令和2年の新春を迎えるにあたり、秋田県中小企業団体中央会並びに会員組合、組合員企業の皆さまに、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年のわが国経済を振り返りますと、中小企業の景況感は、中国向け輸出の弱含み等を背景に製造業には減速感がみられた一方で、非製造業は底堅い個人消費に支えられ、高水準を維持しました。ただし、人手不足を感じる中小企業は多く、引き続き、労働需給の逼迫による人件費負担の増加等が懸念されます。また今後、人口減少時代の本格到来やグローバル化の一層の進展により、中小企業の経営ニーズは、一段と高度化・多様化することが考えられます。

このような中、私ども商工中金は、「商工中金経営改革プログラム」に沿って、「経営支援総合金融サービス事業」へ転換し、真にお客さま本位で長期的な視点から、中小企業及び中小企業組合の価値向上に貢献するという基本的な考えの下、お客さまとのリレーションを深化させ、真のニーズや課題に応じた最適なソリューションを提供してまいります。

具体的には、経営改善、事業再生および事業承継等を必要としている中小企業の皆さまや、リスクの高い事業に乗りだそうとしている中小企業の皆さまに対する支援に重点的に取り組んでまいります。そのために、日頃からのリレーションを通じてお取引先の課題やニーズを深掘りするとともに、地域金融機関や外部専門機関との連携・協業を密にしながら、当金庫の特長を活かしたソリューションを提供できる体制の整備と高度化を図ってまいります。

また、こうしたビジネスモデルを実現するために、引き続きコンプライアンス意識の徹底や内部管理態勢の強化に取り組むとともに、ビジネスモデルの実現に向けて職員が能力を最大限に発揮できる人事制度の構築、ダイバーシティの推進等に取り組んでまいります。

昨年4月に秋田支店長に着任して以来、秋田県の食文化や観光などの素晴らしい魅力、そして潜在的な地域力を感じ取っております。「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、そして秋田県経済の発展のお役に立てるよう、支店職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。